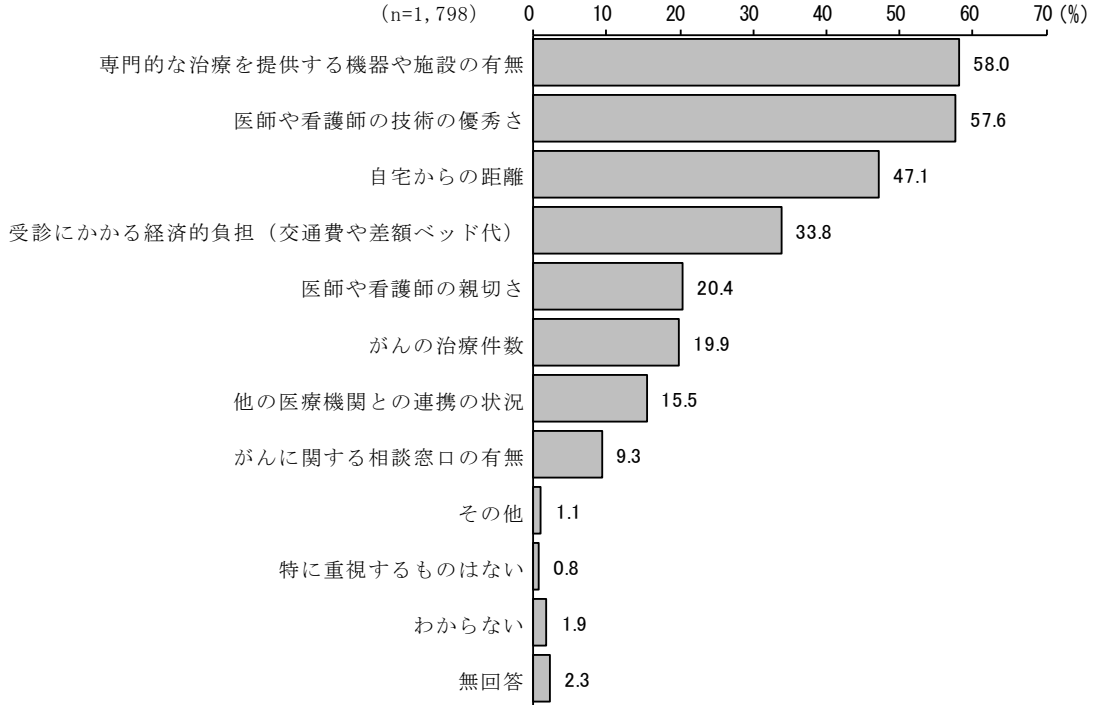
Ⅴ　がん対策

１．「がん」を治療する病院を選ぶ際に重視すること

－「専門的な治療を提供する機器や施設の有無」と「医師や看護師の技術の優秀さ」が約６割－

問15　あなたが「がん」と診断されたら，治療を受ける病院を選ぶにあたり重視するのはどれですか。（○は３つまで）



「がん」を治療する病院を選ぶ際に重視することについては，「専門的な治療を提供する機器や施設の有無」（58.0%）と「医師や看護師の技術の優秀さ」（57.6%）が約６割と高くなっている。次いで，「自宅からの距離」（47.1%）が約５割，「受診にかかる経済的負担（交通費や差額ベッド代）」（33.8%）が３割台半ばと続いている。

－女性の60～64歳で「専門的な治療を提供する機器や施設の有無」が６割台半ば－

性・年齢別でみると，「専門的な治療を提供する機器や施設の有無」は，女性の60～64歳（66.4%）で６割台半ばと最も高くなっている。

－女性の40代で「自宅からの距離」が約６割－

性・年齢別でみると，「自宅からの距離」は，女性の40代（59.0%）で約６割と最も高くなっている。

－女性の18～29歳で「受診にかかる経済的負担（交通費や差額ベッド代）」が４割台半ば－

性・年齢別でみると，「受診にかかる経済的負担（交通費や差額ベッド代）」は，女性の18～29歳（46.6%）で４割台半ばと最も高くなっている。

－管理職で「専門的な治療を提供する機器や施設の有無」が約７割－

職業別でみると，「専門的な治療を提供する機器や施設の有無」は，管理職（70.9%）で約７割と最も高くなっている。

－管理職で「医師や看護師の技術の優秀さ」が約７割－

職業別でみると，「医師や看護師の技術の優秀さ」は，管理職（68.0%）で約７割と最も高くなっている。

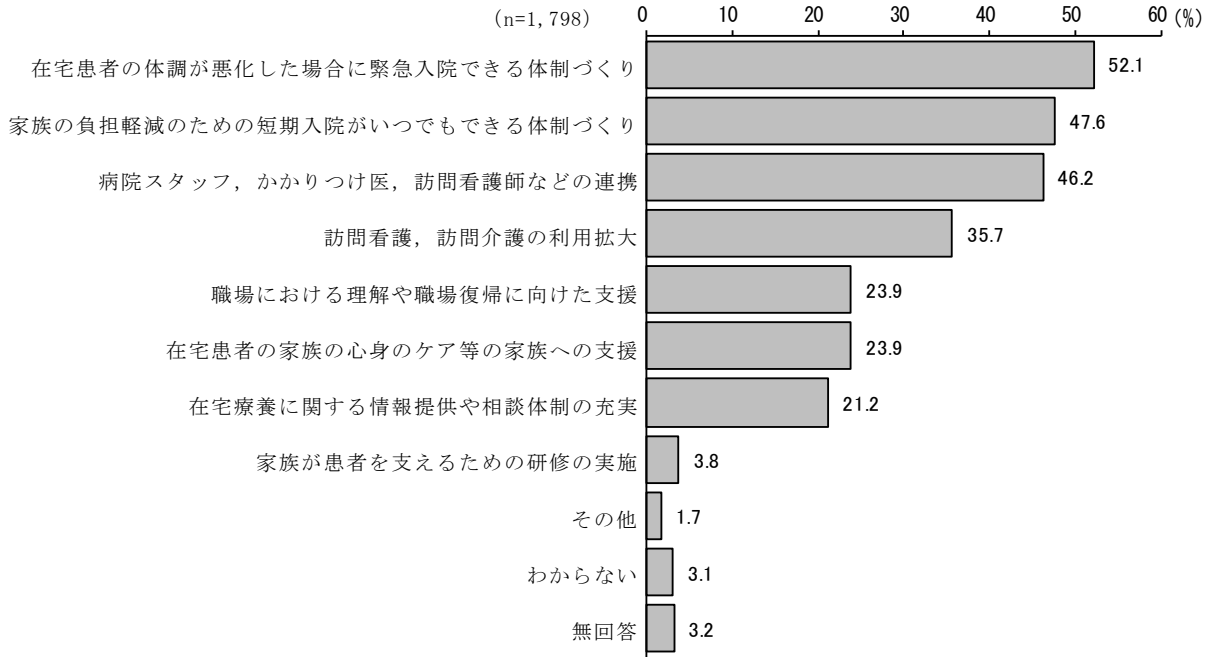
図Ⅴ　15－１　「がん」を治療する病院を選ぶ際に重視すること
（地域別，性別，性・年齢別，職業別，ライフステージ別－上位７項目）

	n	専門的な治療を提供する機器や施設の有無	医師や看護師の技術の優秀さ	自宅からの距離	受診にかかる経済的負担（交通費や差額ベッド代）	医師や看護師の親切さ	がんの治療件数	他の医療機関との連携の状況
全体	(1,798)	58.0	57.6	47.1	33.8	20.4	19.9	15.5
【地域別】								
県北	(398)	56.8	53.3	45.2	36.2	23.1	22.4	16.3
県央	(278)	57.9	61.5	40.6	31.3	21.2	23.4	17.3
鹿行	(163)	60.7	57.7	46.6	36.8	19.0	18.4	16.6
県南	(603)	57.9	58.9	51.1	32.0	19.4	19.6	12.6
県西	(335)	58.8	57.9	47.5	34.6	19.7	15.5	17.3
【性別】								
男性	(785)	60.1	58.3	43.4	36.2	17.6	21.0	13.2
女性	(981)	56.6	57.5	50.4	31.9	22.9	19.3	16.9
【性・年齢別】								
男性 18～29歳	(69)	56.5	50.7	37.7	37.7	21.7	24.6	11.6
男性 30～39歳	(92)	63.0	58.7	33.7	43.5	26.1	28.3	7.6
男性 40～49歳	(126)	60.3	58.7	51.6	43.7	20.6	22.2	11.9
男性 50～59歳	(132)	60.6	57.6	44.7	33.3	16.7	17.4	15.2
男性 60～64歳	(88)	59.1	54.5	51.1	43.2	12.5	11.4	14.8
男性 65～69歳	(90)	60.0	62.2	47.8	37.8	11.1	22.2	7.8
男性 70歳以上	(188)	60.1	61.2	38.3	25.0	16.0	21.8	18.1
女性 18～29歳	(88)	52.3	53.4	37.5	46.6	26.1	27.3	15.9
女性 30～39歳	(128)	60.9	50.8	50.8	43.0	23.4	21.1	10.2
女性 40～49歳	(139)	54.7	58.3	59.0	27.3	25.2	25.2	12.9
女性 50～59歳	(174)	61.5	62.6	50.6	25.3	21.3	21.3	14.9
女性 60～64歳	(107)	66.4	56.1	56.1	34.6	21.5	18.7	18.7
女性 65～69歳	(127)	53.5	59.8	48.8	32.3	19.7	14.2	19.7
女性 70歳以上	(218)	50.0	57.8	47.7	26.1	23.9	12.8	22.9
【職業別】								
農林漁業	(74)	62.2	58.1	48.6	21.6	12.2	21.6	14.9
商工サービス業	(189)	60.3	57.1	51.3	41.8	20.6	14.3	13.8
自由業	(99)	57.6	55.6	42.4	40.4	26.3	13.1	13.1
管理職	(103)	70.9	68.0	41.7	30.1	13.6	30.1	14.6
事務職・専門技術職	(437)	64.3	60.4	47.8	32.7	22.0	25.2	12.1
労務職	(119)	54.6	51.3	56.3	42.9	17.6	16.0	13.4
学生	(37)	48.6	64.9	21.6	35.1	27.0	27.0	21.6
主婦・主夫	(361)	54.8	59.0	51.2	34.1	21.1	18.0	17.5
その他の無職	(325)	50.8	54.5	42.8	28.0	18.5	18.2	19.7
【ライフステージ別】								
独身期	(211)	53.6	52.6	37.4	43.6	26.5	26.1	12.8
家族形成・成長前期	(132)	69.7	56.8	42.4	40.9	20.5	22.7	10.6
家族成長中期	(148)	58.8	57.4	60.1	33.8	22.3	28.4	10.1
家族成長後期	(125)	66.4	60.8	50.4	35.2	17.6	24.0	11.2
家族成熟期	(163)	61.3	60.1	48.5	25.8	18.4	20.9	18.4
高齢期	(802)	56.7	58.9	47.1	31.0	18.6	16.2	18.5
その他	(217)	51.6	54.4	47.5	35.0	23.0	16.6	13.8

２．安心して在宅療養するために必要な取組

－「在宅患者の体調が悪化した場合に緊急入院できる体制づくり」が５割超－

問16　「がん」になっても，安心して在宅で療養し，できる限り普段どおりの生活を送るためには，行政や病院等はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。
（○は３つまで）



「がん」になっても安心して在宅療養するために，行政や病院等に必要とされる取組については，「在宅患者の体調が悪化した場合に緊急入院できる体制づくり」（52.1%）が５割を超えて最も高くなっている。次いで，「家族の負担軽減のための短期入院がいつでもできる体制づくり」(47.6%)が約５割，「病院スタッフ，かかりつけ医，訪問看護師などの連携」（46.2%）が４割台半ばと続いている。

－女性の60～64歳で「在宅患者の体調が悪化した場合に緊急入院できる体制づくり」が６割台半ば－

性・年齢別でみると，「在宅患者の体調が悪化した場合に緊急入院できる体制づくり」は，女性の60～64歳（65.4%）で６割台半ばと最も高くなっている。

－女性の65～69歳で「家族の負担軽減のための短期入院がいつでもできる体制づくり」が６割超－

性・年齢別でみると，「家族の負担軽減のための短期入院がいつでもできる体制づくり」は，女性の65～69歳（61.4%）で６割を超えて最も高くなっている。

－女性で「病院スタッフ，かかりつけ医，訪問看護師などの連携」が男性よりも約７ポイント高い－

性別でみると，「病院スタッフ，かかりつけ医，訪問看護師などの連携」は，女性（49.7%）が男性（42.4%）よりも約７ポイント高くなっている。

－男性の30代で「職場における理解や職場復帰に向けた支援」が４割超－

性・年齢別でみると，「職場における理解や職場復帰に向けた支援」は，男性の30代（42.4%）で４割を超えて最も高く，次いで，男性の18～29歳（40.6%）と女性の18～29歳（37.5%）で約４割と高くなっている。

－労務職で「在宅患者の体調が悪化した場合に緊急入院できる体制づくり」が６割超－

職業別でみると，「在宅患者の体調が悪化した場合に緊急入院できる体制づくり」は，労務職（62.2%）で６割を超えて最も高くなっている。

－事務職・専門技術職で「職場における理解や職場復帰に向けた支援」が約４割－

職業別でみると，「職場における理解や職場復帰に向けた支援」は，事務職・専門技術職（38.7%）で約４割と最も高くなっている。

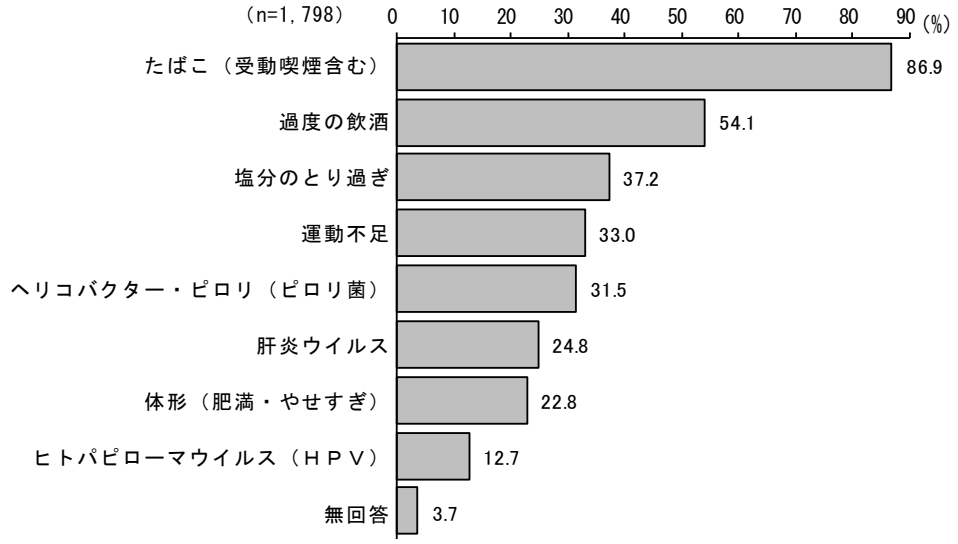
図Ⅴ　16－１　安心して在宅療養するために必要な取組
（地域別，性別，性・年齢別，職業別，ライフステージ別－上位７項目）

	n	在宅患者の体調が悪化した場合に緊急入院できる体制づくり	家族の負担軽減のための短期入院がいつでもできる体制づくり	病院スタッフ，かかりつけ医，訪問看護師などの連携	訪問看護，訪問介護の利用拡大	職場における理解や職場復帰に向けた支援	在宅患者の家族の心身のケア等の家族への支援	在宅療養に関する情報提供や相談体制の充実
全体	(1,798)	52.1	47.6	46.2	35.7	23.9	23.9	21.2
【地域別】								
県北	(398)	54.8	48.0	46.7	36.2	26.4	23.9	20.9
県央	(278)	48.6	40.6	48.6	32.7	23.0	25.9	21.2
鹿行	(163)	56.4	53.4	48.5	35.6	25.2	20.2	16.6
県南	(603)	50.6	47.8	44.6	37.8	22.7	23.2	24.2
県西	(335)	52.5	50.1	46.6	34.6	23.9	25.4	18.2
【性別】								
男性	(785)	51.8	47.9	42.4	36.7	23.2	22.5	21.7
女性	(981)	52.6	47.3	49.7	35.1	24.9	24.7	21.0
【性・年齢別】								
男性 18～29歳	(69)	42.0	42.0	36.2	33.3	40.6	13.0	10.1
男性 30～39歳	(92)	50.0	43.5	41.3	25.0	42.4	23.9	17.4
男性 40～49歳	(126)	46.0	54.0	38.9	31.0	34.1	22.2	26.2
男性 50～59歳	(132)	43.9	40.9	45.5	43.9	25.8	21.2	27.3
男性 60～64歳	(88)	59.1	50.0	46.6	36.4	14.8	23.9	19.3
男性 65～69歳	(90)	57.8	55.6	38.9	35.6	12.2	28.9	24.4
男性 70歳以上	(188)	59.6	48.4	45.2	43.1	7.4	22.9	20.7
女性 18～29歳	(88)	43.2	39.8	50.0	25.0	37.5	30.7	22.7
女性 30～39歳	(128)	39.8	41.4	39.1	35.9	33.6	29.7	28.1
女性 40～49歳	(139)	46.8	48.2	50.4	34.5	33.8	27.3	14.4
女性 50～59歳	(174)	46.6	47.7	51.7	32.8	34.5	25.9	22.4
女性 60～64歳	(107)	65.4	46.7	56.1	34.6	20.6	20.6	19.6
女性 65～69歳	(127)	60.6	61.4	52.0	37.8	16.5	20.5	19.7
女性 70歳以上	(218)	61.5	45.0	49.5	39.4	8.3	21.1	20.6
【職業別】								
農林漁業	(74)	52.7	45.9	47.3	41.9	13.5	14.9	20.3
商工サービス業	(189)	57.1	56.6	37.6	30.2	32.8	22.8	22.2
自由業	(99)	53.5	52.5	47.5	30.3	20.2	29.3	15.2
管理職	(103)	41.7	47.6	40.8	40.8	31.1	19.4	28.2
事務職・専門技術職	(437)	45.1	44.6	46.5	34.8	38.7	23.8	23.1
労務職	(119)	62.2	49.6	50.4	33.6	16.8	26.1	20.2
学生	(37)	37.8	27.0	40.5	18.9	29.7	27.0	29.7
主婦・主夫	(361)	55.7	51.0	51.5	41.3	15.0	26.6	19.9
その他の無職	(325)	57.2	45.8	46.5	36.0	12.9	21.8	19.1
【ライフステージ別】								
独身期	(211)	43.6	39.3	43.1	24.6	39.8	24.6	22.3
家族形成・成長前期	(132)	41.7	43.2	42.4	38.6	36.4	28.8	20.5
家族成長中期	(148)	46.6	48.0	42.6	30.4	31.8	29.7	22.3
家族成長後期	(125)	40.8	50.4	44.0	40.8	36.0	19.2	24.0
家族成熟期	(163)	46.6	54.6	47.2	35.0	30.1	27.0	21.5
高齢期	(802)	61.1	50.2	48.8	38.4	11.8	22.7	20.6
その他	(217)	47.5	41.0	45.2	35.5	28.1	21.2	20.3

３．「がん」のリスクが高まると思うもの

－「たばこ（受動喫煙含む）」が８割台半ば－

問17　次のうち「がん」のリスクが高まると思うものはどれですか。（○はいくつでも）



「がん」のリスクが高まると思うものとしては，「たばこ（受動喫煙含む）」（86.9%）が８割台半ばと最も高く，次いで，「過度の飲酒」（54.1%）が５割台半ば，「塩分のとり過ぎ」（37.2%）が約４割で続いている。

－男性の30代，女性の18～29歳で「たばこ（受動喫煙含む）」が９割台半ば－

性・年齢別でみると，「たばこ（受動喫煙含む）」は，男性の30代（94.6%）と女性の18～29歳（94.3%）で９割台半ばと高くなっている。

－女性の60～64歳で「ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）」が４割台半ば－

性・年齢別でみると，「ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）」は，女性の60～64歳（43.0%）で４割台半ばと最も高くなっている。

－男性の30代，女性の40代で「体形（肥満・やせすぎ）」が３割台半ば－

性・年齢別でみると，「体形（肥満・やせすぎ）」は，男性の30代（33.7%）と女性の40代（33.1%）で３割台半ばと高くなっている。

図Ⅴ　17－１　「がん」のリスクが高まると思うもの
（地域別，性別，性・年齢別，職業別，ライフステージ別－上位７項目）

	n	たばこ（受動喫煙含む）	過度の飲酒	塩分のとり過ぎ	運動不足	ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）	肝炎ウイルス	体形（肥満・やせすぎ）
全体	(1,798)	86.9	54.1	37.2	33.0	31.5	24.8	22.8
【地域別】								
県北	(398)	88.9	54.3	37.9	33.7	30.9	21.6	22.4
県央	(278)	86.7	57.6	37.1	31.7	33.8	25.2	25.2
鹿行	(163)	91.4	54.0	38.0	32.5	26.4	19.6	25.8
県南	(603)	84.9	53.6	35.0	33.7	36.2	28.2	20.9
県西	(335)	86.9	52.8	40.6	33.1	26.3	25.1	23.9
【性別】								
男性	(785)	86.1	50.7	34.4	34.5	28.3	23.4	23.4
女性	(981)	88.1	57.1	40.1	31.7	34.5	26.3	22.6
【性・年齢別】								
男性 18～29歳	(69)	84.1	53.6	15.9	42.0	13.0	20.3	24.6
男性 30～39歳	(92)	94.6	50.0	31.5	35.9	22.8	16.3	33.7
男性 40～49歳	(126)	92.9	43.7	31.0	31.7	37.3	27.0	19.0
男性 50～59歳	(132)	81.1	53.8	33.3	38.6	28.8	29.5	27.3
男性 60～64歳	(88)	81.8	53.4	36.4	37.5	29.5	22.7	27.3
男性 65～69歳	(90)	84.4	41.1	36.7	26.7	28.9	23.3	18.9
男性 70歳以上	(188)	84.6	55.9	43.6	32.4	29.3	21.8	18.6
女性 18～29歳	(88)	94.3	60.2	39.8	33.0	25.0	21.6	30.7
女性 30～39歳	(128)	89.8	57.0	39.1	32.8	36.7	24.2	28.9
女性 40～49歳	(139)	89.2	57.6	38.1	36.0	25.2	19.4	33.1
女性 50～59歳	(174)	83.9	56.3	36.2	33.9	33.9	31.0	23.6
女性 60～64歳	(107)	92.5	61.7	39.3	30.8	43.0	25.2	15.0
女性 65～69歳	(127)	87.4	52.0	38.6	28.3	40.9	34.6	15.7
女性 70歳以上	(218)	85.3	56.9	46.3	28.4	35.3	25.7	16.1
【職業別】								
農林漁業	(74)	81.1	48.6	28.4	14.9	28.4	25.7	18.9
商工サービス業	(189)	86.8	54.5	29.6	37.6	27.0	20.6	23.3
自由業	(99)	81.8	50.5	40.4	38.4	28.3	23.2	28.3
管理職	(103)	86.4	58.3	41.7	43.7	34.0	28.2	25.2
事務職・専門技術職	(437)	90.2	54.0	36.2	36.2	31.6	27.0	29.1
労務職	(119)	87.4	48.7	35.3	26.1	29.4	33.6	22.7
学生	(37)	91.9	62.2	27.0	37.8	24.3	24.3	18.9
主婦・主夫	(361)	89.2	56.5	43.8	30.7	38.8	27.1	17.7
その他の無職	(325)	84.6	56.3	38.2	30.2	30.5	19.1	19.7
【ライフステージ別】								
独身期	(211)	90.0	56.4	29.9	37.4	22.3	20.4	30.3
家族形成・成長前期	(132)	93.2	59.1	37.1	34.1	34.1	23.5	29.5
家族成長中期	(148)	93.9	52.0	41.9	28.4	35.1	25.0	31.8
家族成長後期	(125)	86.4	53.6	38.4	34.4	35.2	27.2	20.8
家族成熟期	(163)	82.8	52.8	31.3	28.2	28.8	26.4	26.4
高齢期	(802)	85.7	54.9	41.3	30.7	33.9	25.4	17.5
その他	(217)	82.9	48.4	30.0	42.4	27.6	24.9	23.5

４．「がん検診」の１年以内の受診の有無

－「受診した」が約４割－

問18　あなたは，「がん検診」を1年以内に受診されましたか。（○は１つだけ）

「がん検診」の１年以内の受診有無では，「受診した」（40.6%）が約４割となっている。一方「受診しなかった」（56.2%）は５割台半ばとなっている。

－女性で「受診した」が男性よりも11ポイント高い－

性別でみると，「受診した」は，女性（45.5%）が男性（34.5%）よりも11ポイント高くなっている。

－女性の50代で「受診した」が約６割－

性・年齢別でみると，「受診した」は，女性の50代（59.2%）で約６割と最も高く，次いで，女性の60～64歳（53.3%）で５割台半ばと高くなっている。

－男性の60～64歳で「受診しなかった」が約７割－

性・年齢別でみると，「受診しなかった」は，男性の60～64歳（69.3%）で約７割と最も高くなっている。

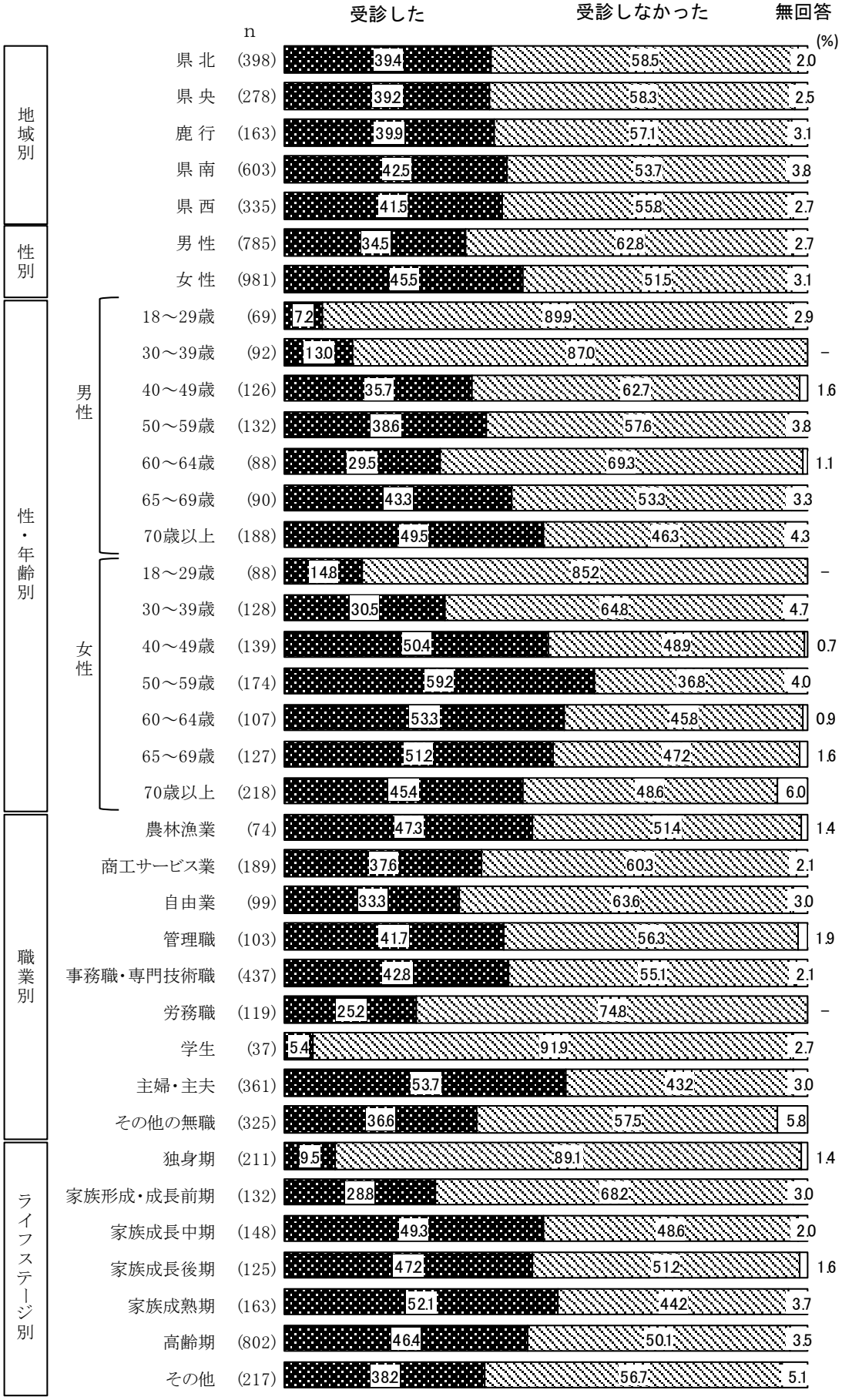
－主婦・主夫で「受診した」が５割台半ば－

職業別でみると，「受診した」は，主婦・主夫（53.7%）で５割台半ばと最も高くなっている。

－労務職で「受診しなかった」が７割台半ば－

職業別でみると，「受診しなかった」は，労務職（74.8%）で７割台半ばと高くなっている。

図Ⅴ　18－１　「がん検診」の１年以内の受診有無
（地域別，性別，性・年齢別，職業別，ライフステージ別）



５．「がん検診」の受診場所

－「個人で医療機関等を受診する検診」が約４割－

（問18で「１．受診した」に回答した方へ）
問18－１　どこで受診されましたか。（○は１つだけ）

「がん検診」の受診場所としては，「個人で医療機関等を受診する検診」（37.8%）が約４割と最も高くなっている。次いで，「市町村実施の住民検診」（32.5%）が３割を超え，「職場検診」（25.1%）が２割台半ばで続いている。

－鹿行で「市町村実施の住民検診」が５割台半ば－

地域別でみると，「市町村実施の住民検診」は，鹿行（53.8%）で５割台半ばと最も高くなっている。

－男性で「職場検診」が女性よりも約17ポイント高い－

性別でみると，「職場検診」は，男性（35.8%）が女性（18.6%）よりも約17ポイント高くなっている。

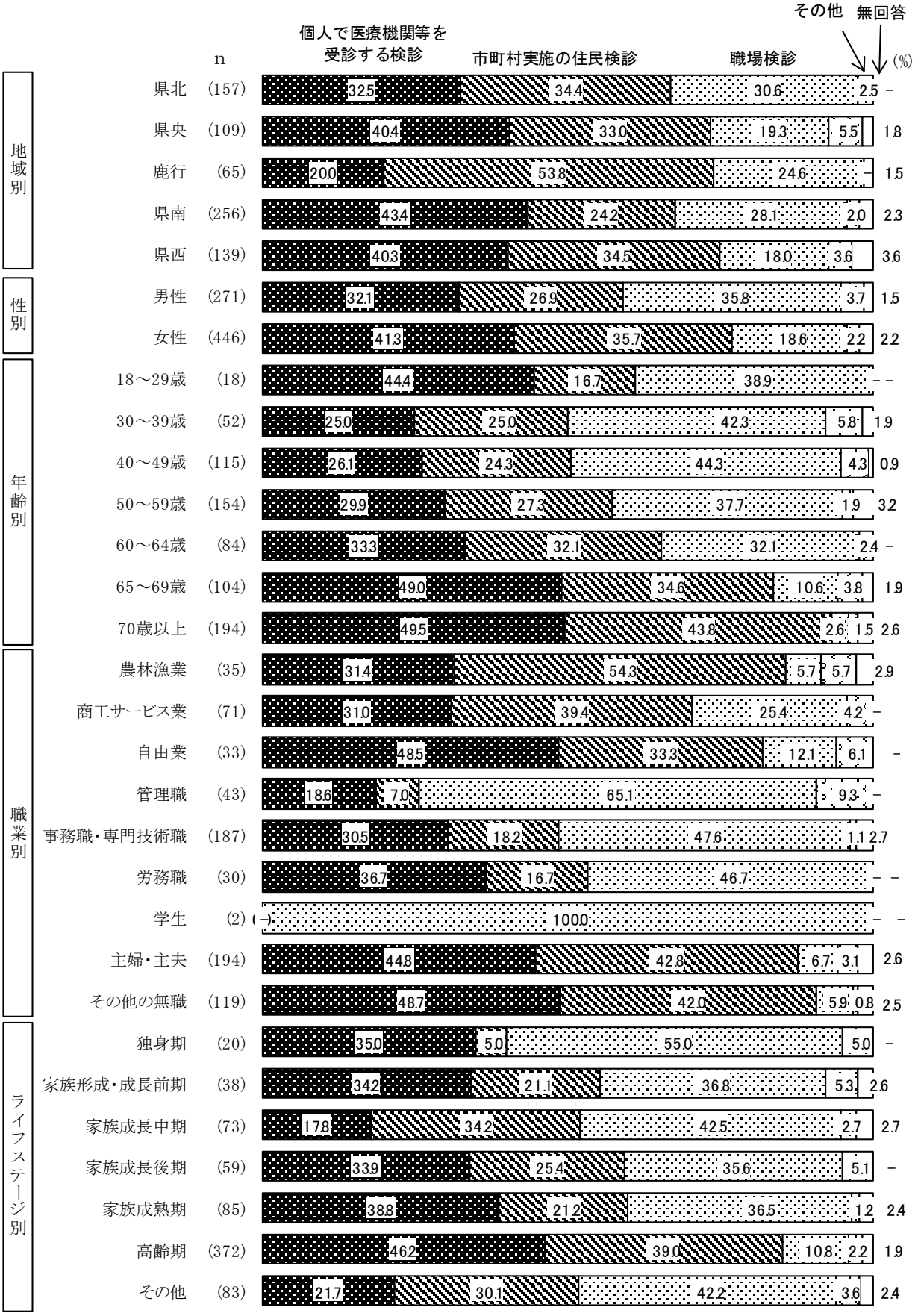
－65～69歳，70歳以上で「個人で医療機関等を受診する検診」が約５割－

年齢別でみると,「個人で医療機関等を受診する検診」は,65～69歳(49.0%)と70歳以上(49.5%)で約５割と高くなっている。

－30代，40代で「職場検診」が４割台前半－

年齢別でみると，「職場検診」は，30代（42.3%）と40代（44.3%）で４割台前半と高くなっている。

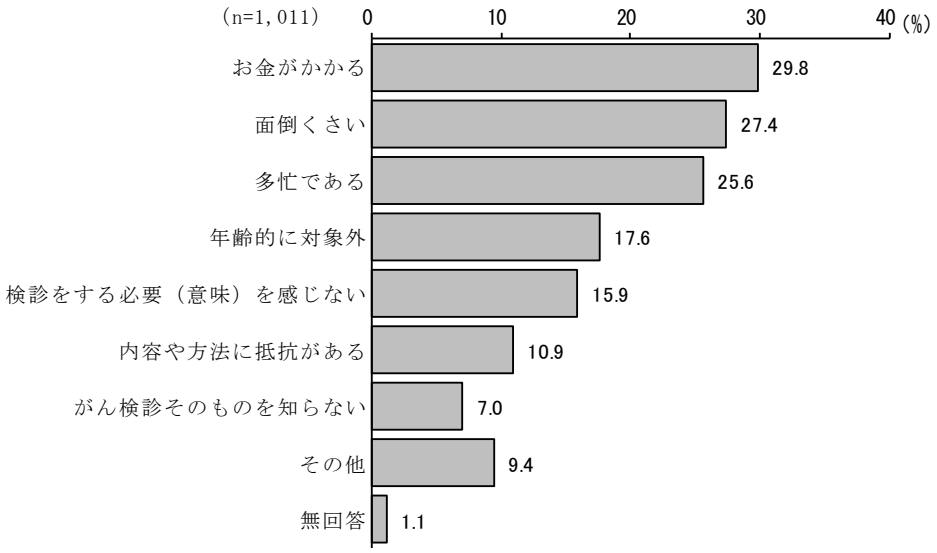
図Ⅴ　18－１－１　「がん検診」の受診場所
（地域別，性別，年齢別，職業別，ライフステージ別）



６．「がん検診」を受診しなかった理由

－「お金がかかる」と「面倒くさい」が約３割－

（問18で「２．受診しなかった」に回答した方へ）
問18－２　「がん検診」を受診しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）



「がん検診」を受診しなかった理由としては,「お金がかかる」(29.8%)と「面倒くさい」(27.4%)が約３割と高くなっている。次いで，「多忙である」（25.5%）が２割台半ばで続いている。

－男性の60～64歳で「お金がかかる」が約５割－

性・年齢別でみると，「お金がかかる」は，男性の60～64歳（49.2%）で約５割と最も高く，次いで，男性の65～69歳（43.8%）で４割台半ばと高くなっている。

－男性の60代，女性の50代で「面倒くさい」が約４割－

性・年齢別でみると，「面倒くさい」は，男性の60～64歳（37.7%）と65～69歳（37.5%），女性の50代（40.6%）で約４割と高くなっている。

－男性の50代で「多忙である」が５割－

性・年齢別でみると，「多忙である」は，男性の50代（50.0%）で５割と最も高くなっている。

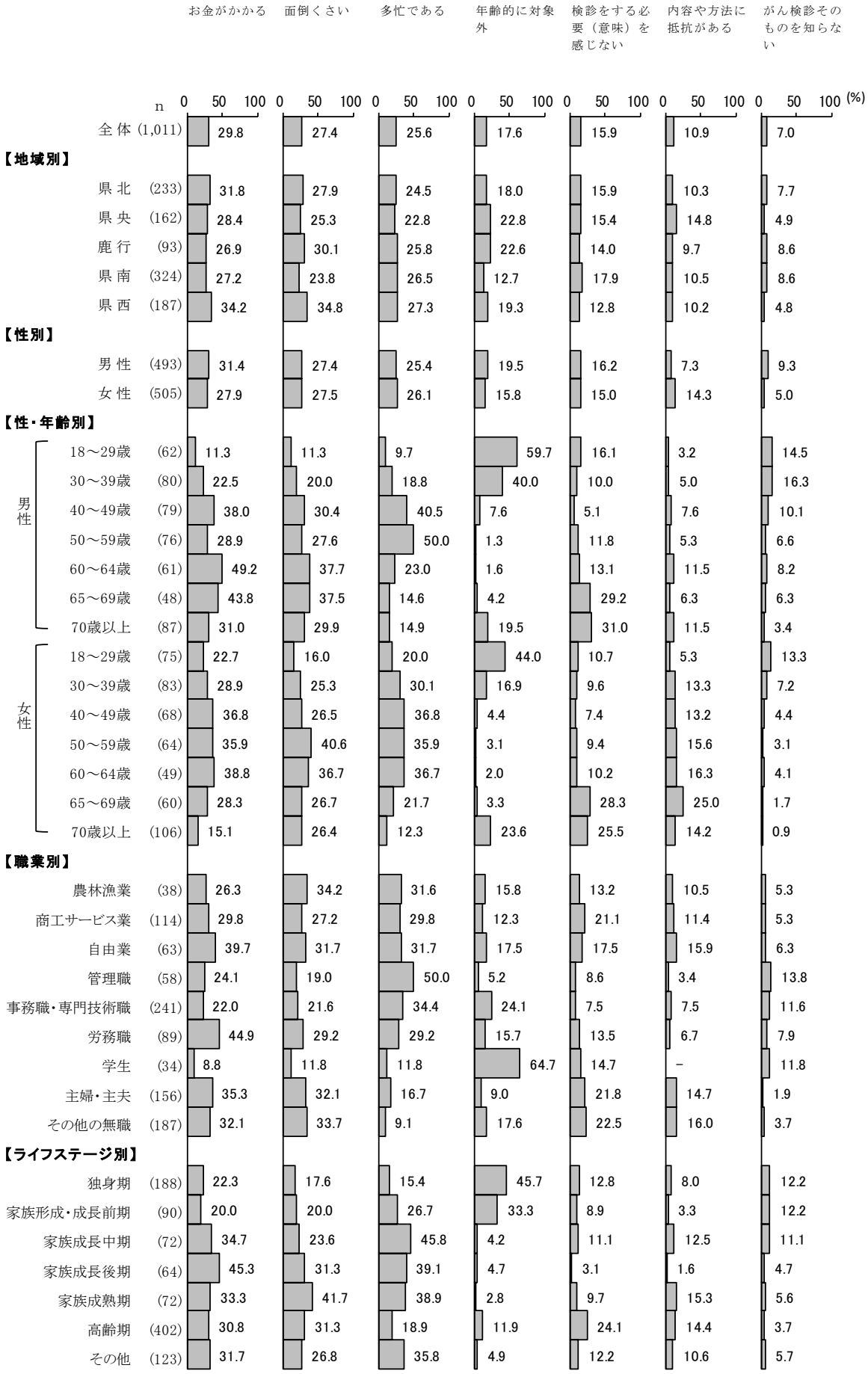
－労務職で「お金がかかる」が４割台半ば－

職業別でみると，「お金がかかる」は，労務職（44.9%）で４割台半ばと最も高くなっている。

－管理職で「多忙である」が５割－

職業別でみると，「多忙である」は，管理職（50.0%）で５割と最も高くなっている。

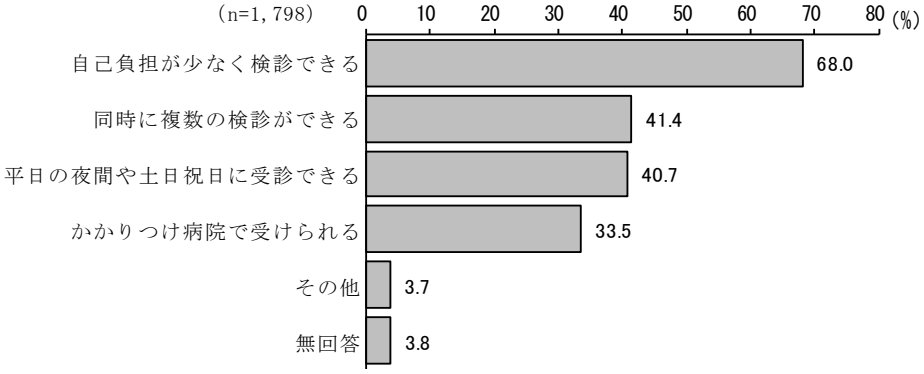
図Ⅴ　18－２－１　「がん検診」を受診しなかった理由
（地域別，性別，性・年齢別，職業別，ライフステージ別）



７．「がん検診」が受けやすくなるための取組

－「自己負担が少なく検診できる」が約７割－

問19　どうすれば「がん検診」が受けやすくなりますか。（○はいくつでも）



「がん検診」が受けやすくなるための対策としては，「自己負担が少なく検診できる」（68.0%）が約７割と最も高くなっている。次いで，「同時に複数の検診ができる」（41.4%）が４割を超え，「平日の夜間や土日祝日に受診できる」（40.7%）が約４割で続いている。

－女性で「同時に複数の検診ができる」が男性よりも約11ポイント高い－

性別でみると，「同時に複数の検診ができる」は，女性（46.3%）が男性（35.7%）よりも約11ポイント高くなっている。

－男性の60～64歳，女性の18～29歳，60～64歳で「自己負担が少なく検診できる」が約８割－

性・年齢別でみると，「自己負担が少なく検診できる」は，男性の60～64歳（80.7%），女性の18～29歳（79.5%）と60～64歳（78.5%）で約８割と高くなっている。

－女性の65～69歳で「同時に複数の検診ができる」が５割超－

性・年齢別でみると，「同時に複数の検診ができる」は，女性の65～69歳（52.8%）で５割を超えて最も高くなっている。

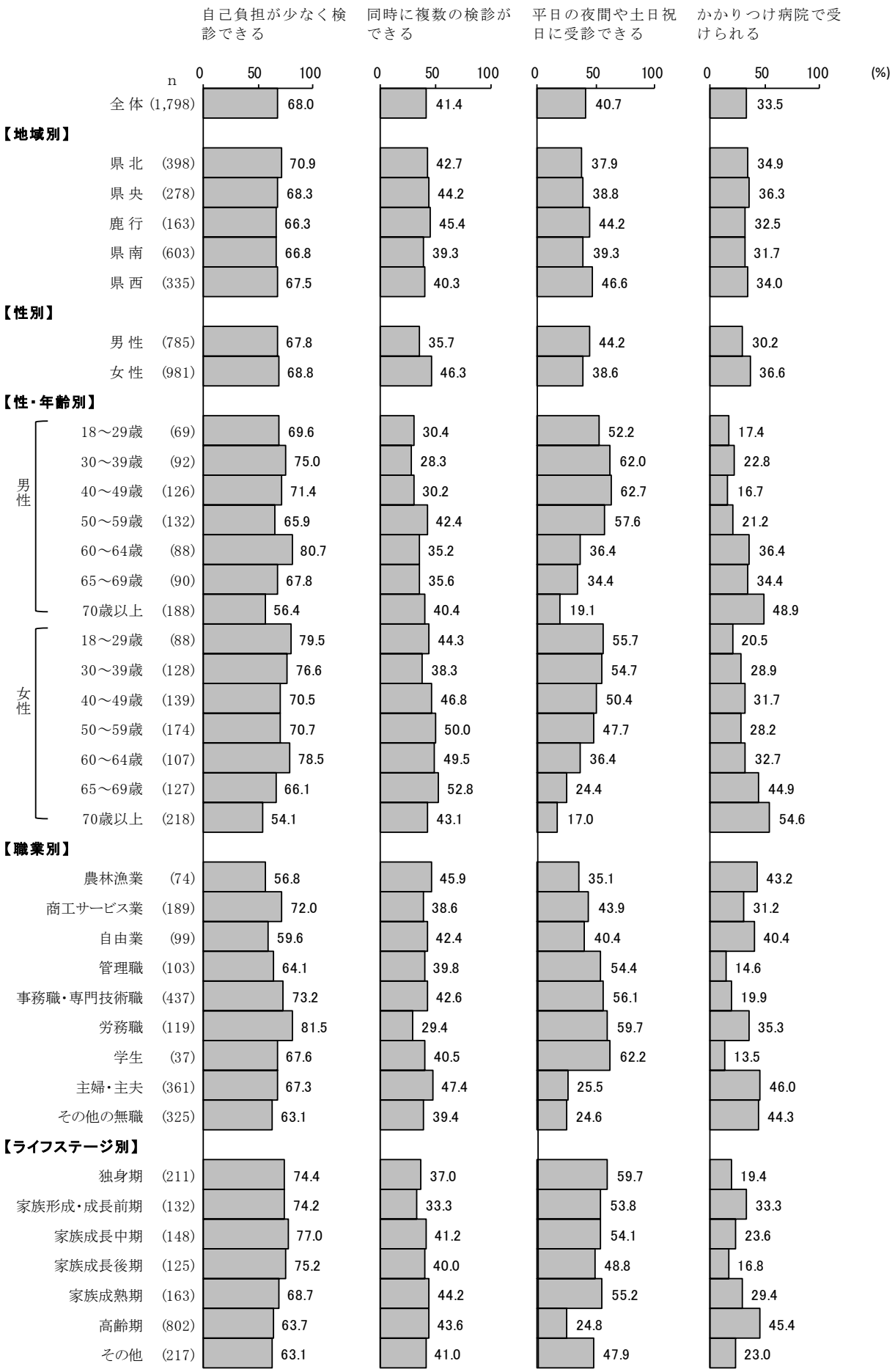
－男性の30代，40代で「平日の夜間や土日祝日に受診できる」が６割超－

性・年齢別でみると，「平日の夜間や土日祝日に受診できる」は，男性の30代（62.0%），40代（62.7%）で６割を超えて高くなっている。

－女性の70歳以上で「かかりつけ病院で受けられる」は５割台半ば－

性・年齢別でみると，「かかりつけ病院で受けられる」は，女性の70歳以上（54.6%）で５割台半ばと最も高く，次いで，男性の70歳以上（48.9%）で約５割と高くなっている。

－労務職で「自己負担が少なく検診できる」が８割超－

職業別でみると，「自己負担が少なく検診できる」は，労務職（81.5%）で８割を超えて最も高くなっている。

図Ⅴ　19－１　「がん検診」が受けやすくなるための取組
（地域別，性別，性・年齢別，職業別，ライフステージ別）